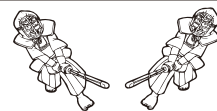




題字：細川武敏 (41期) 筆
 OB会報誌第26号
 平成30年12月1日発行
 制作：会報編集委員
 (株)上田ワードプロセス企画
 TEL. 0268-23-1122 (代)



いざ百難に試みん

会長 春原和民 (六十四期)



【森角遙さんの勇姿を見る】

に、長野市ホワイト
 リングで開催されました全日本女子剣
 道選手権大会には、当会副幹事長の森
 角遙さん (旧姓、滝浪 百六期) が悲
 願の初出場を果たされました。

試合は、東京都代表で六回の出場を
 誇る警視庁の阿部美洗五段との対戦で
 したが、時間内では互いに譲らず延長
 戦まで持ち込まれ、最後は残念ながら
 阿部選手の捨て身の面に敗れました。
 しかし内容的には互角の試合運びで、
 堂々の戦いぶりに森角さんの健闘を称
 えたいと思います。

なお、対戦相手の阿部選手は、同大
 会の優秀選手に選ばれています。

森角さんにはこの経験を生かして是
 非、来年も挑戦していただいて、全国
 レベルでの自分の位置を確かめてもら
 うようお願いいたします。

OB会としては、今回の森角さんの
 快挙に対し、袴を贈り祝意を表しまし
 たことをご報告します。

【運動部OB連合会について】

現在、運動部OB連合会は十三班が
 加入して、互いの親睦と母校運動班の
 支援を主な目的として活動していま
 す。今年も硬式テニスが会長班として
 運営に当たっていますが、来年はソフ
 トテニス班となり次に剣道班の当番と
 なります。(故)阿部祐之元会長が平
 成二十一年に担当されて以来、十三年ぶ
 りの会長班となりますがその時は会員
 の皆様のご協力をお願いします。

【会費納入と、現役生支援のお願い】

例年のお願ひになりますが、OB会
 の運営に当たって最重要課題は資金の
 確保であります。会員の皆さんで今年
 度の会費未納入の方は、この剣風が到
 着次第、速やかに納入をお願いします。

また、現役生支援の方法はいろいろ
 とあるかと思ひます。経済的な支援の
 ほか、しっかりと見守ることが大切で
 はないかと考えます。それには母校に
 足を運び稽古に参加、或いは視察して
 昔の体験談でも結構です。また、校外
 で試合の時は叱咤激励して応援をよろ
 しくお願いします。

活動報告

幹事長 唐澤 信広 (八十六期)

平成30年度のOB会活動についてご
 報告いたします。



まずは平成29
 年には、故半田孝淳
 氏が揮毫した班旗
 「剣友」の手拭いを
 50枚製作し、「剣風」

と一緒にOB会員に送付させていただきました
 とともに、現役生にも配布して試合
 などで使用していただきました。

平成30年度の活動方針につきましては
 は、総会への出席者を増やすこと、ま
 た会費納入を増やすこと等について役
 員会で検討いたしました。29年度の
 方針に沿って運営をすることといたし
 ました。

定例総会の開催にあたりましては、
 29年度に引き続きOB会のホームページ、
 メールアドレス登録者へのメルマ
 ガによる通知を行い、個々への郵送は
 いたしませんでした。

6月23日(土)、上田高校体育館に
 おいて宮下杯争奪戦・稽古会、上田温
 泉ホテル祥園において、総会・懇親会
 が開催されました。

午後2時30分から開会式を行い、昨
 年に引き続き現役生全員による剣道形
 の演武が行われました。顧問の若林康
 彦先生の指導の下、現役生が日ごろの
 練習の成果として立派な演武を披露し
 てくれました。通

常、剣道形の修練
 は昇段試験前など
 限られるため、現
 役生にとつてはよ
 い機会になったと
 思われます。

その後例年通り
 宮下杯争奪戦を行
 いましたが、今年



故半田孝淳氏 (34期) 揮毫の手拭い

も宮坂信之氏 (64期)
 に審判長をお願いし、
 参加いただいたOB
 会員の皆さんに審判
 をお願いし、快くご
 協力いただきました。



現役生全員による剣道形演武

今年も班員の減少
 もあり1試合場での
 実施となりましたが、
 全員で男子・女子の全試合を観戦し、
 鋭い打込み等があると拍手を送りまし
 ました。また、昨年末に製作した、故半田
 孝淳氏の揮毫による班旗「剣友」の手
 拭いを被り、試合を行いました。争奪
 戦後の講評では、OB諸氏よりアドバ
 イスがあり、現役生は真剣に耳を傾け
 ていました。

引き続き行われた稽古会では、参加
 いただいたOB会員と現役生との稽古
 が行われましたが、大勢の高校生と行
 う稽古は、現役生にとつて非常に貴重
 な経験となったと思ひます。

またOB会員同士の稽古も行われ、
 さらに高みを目指す諸氏にとつても
 非常に有意義な稽古となったのではな
 いでしょうか。

その後、上田温泉ホテル祥園に移動
 してOB会総会並びに懇親会を開催し
 ました。昨年も心配していたこととす
 るが出席者が少なく、次年度以降出席者
 をどのようにして増やすかが大きな課
 題となりました。

総会では、春原和民会長 (64期) の
 挨拶に続き、29年度事業報告・決算報
 告を行い、ご承認いただきました。引
 き続き30年度の事業計画・予算につい
 てもご承認いただき、前述の故半田孝
 淳氏揮毫の班旗「剣友」の手拭い製作



平成30年1月
 27日(土)の幹
 事会に引き続き、
 2月24日(土)
 に上田温泉ホテ
 ル祥園にて行わ
 れた総会には、
 当会からも6名
 が出席しました。
 総会においては、
 事業・決算報告、

と配布について報告をいたしました。
 その際に、原本を額装して道場に飾る
 計画もしていましたが、まずは手拭い
 を製作し会報「剣風」と一緒に送り、
 会費納入の促進を図り、額装について
 は費用もかかることから、次年度以降に
 実施できるよう計画することを説明さ
 せていただきました。

総会出席者の減少と会費納入者の減
 少等の課題解決が重要ですが、今後も
 OB各位のご理解とご協力をいただき
 ながら、役員それぞれが努力して参り
 ます。ぜひとも総会等への出席をお願
 いいたします。

会報「剣風」の発行につきましては、
 例年担当役員を中心に、企画、原稿依
 頼・準備、編集を行っております。27
 年度から過去のOB会費納入実績等の
 一定の条件を付したうえで送付させ
 ていただいております。情報発信手段
 として大変重要であることは重々承知
 しておりますが、経費面を考慮した上
 の対応とさせていただきます。
 ご協力をお願いいたします。

次に、上田高校運動部OB会連合会
 事業についてご報告いたします。



総会 (上田温泉ホテル祥園)

事業計画・予算案等が審議、承認されました。この上田高校運動部OB会連合会の正副会長、事務局は持ち回りとなっており、平成30年度は当会春原会長がOB会連合会副会長に就任しています。またOB会連合会事業として、春と秋の2回ゴルフコンペを開催しております。当会からも有志の方々にご参加いただいておりますが、参加者が3名以上になると団体戦にエントリーできるようになります(2名以下の場合、個人戦のみとなります)。OB会ホームページ、メルマガ等で開催のご連絡をさせていただきますので、大勢の皆様のご参加をお願いいたします。なお、30年度の当番幹事は硬式テニス班となっております。

最後に、幹事長として1年が終わろうとしていますが、役員そして会員の皆様のご協力をいただき、何とかやってこられたかな、と感じております。引き続き幹事長としてお世話になりますが、よろしく願いいたします。これからもOB会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。活動報告とさせていただきます。

6月24日(日)、長野市豊野体育館で、「第11回長野県女子剣道選手権大会兼第57回全日本女子剣道選手権大会長野県予選会」が開催され、上田高校剣道班OB106期の森角(旧姓滝浪)遙さんが優勝した。この大会で、長野県代表となった森角さんは、7月14日(土)、日本武道館で、「第10回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」に出場し、9月23日(日)、長野市のホワイトリングで、「第57回全日本女子剣道選手権大会」に出場した。

『OB対談』 森角(旧姓滝浪)×元顧問

平成29・30年度・役員	顧問	54期 桑澤俊猛
	名誉会長	61期 羽田敏幸
	会長	64期 春原和民
	副会長	65期 若林健(総務担当)
		71期 柳沢収(会員担当)
		76期 佐藤博(広報担当)
		82期 近藤敏朗(指導担当)
	幹事長	86期 唐澤信広
	副幹事長	75期 渡邊隆信
		80期 正村聖美
		86期 柳澤哲
		87期 金森健志
		93期 坂下繁行
		105期 矢ヶ崎心哉
		106期 森角遙
	会計	86期 吉田昭雄
	監査	72期 竹内茂直
		77期 山崎完爾
	参与(正顧問)	若林康彦
	参与(副顧問)	高柳剛士

参与(副顧問)であつた小林まゆみ先生は学校の都合で他の班顧問に異動されました。ご尽力に対し感謝申し上げます。

【司会】同日、同会場で、「第11回長野県剣道選手権大会兼第66回全日本剣道選手権長野県予選会」が行われ、ご主人の森角智慈(ともじ)さん(県警機動隊員)が優勝されて、おめでとうございます。県剣道連盟によると、ご夫婦で優勝というのは、初めてだそうですね。

【森角】ありがとうございます。優勝を目指して試合をしていましたが、隣

【森角】決勝戦の対戦相手は須坂喜江七段(長野日大高校→大阪体育大学→N.T.T.東日本)で、面を二本決めて優勝することができました。今まで七年挑戦してきて優勝できなかったのですが、たくさんの方々に応援していただいて、やつといい報告ができてよかったです。

今回は、森角遙(28・県長野保健福祉事務所)さんが上田高校の一年生の時、団体戦でインターハイ出場に導いた顧問の仁木良子(44・小諸高校)先生と、当時を振り返りながら、お二人で対談を行っていただきました。

【司会】まず、6月に行われた「全日本女子剣道選手権大会長野県予選会」についてお聞きします。決勝戦はいかがでしたか。



森角さん(後)と須坂さん(前)



9月23日 長野市ホワイトリングにて

【仁木】教師になって初めて赴任したのが上田高校でしたので、インターハイ出場を目標と掲げる生徒たちに応えるべく、全身全霊を傾けていました。当時は前期選抜入試があり、上田高校に合格して剣道班に入班する予定の生徒が、遙さんを含めて三名おりました

【司会】次に、長野県の代表として出場した全国大会はいかがでしたか。

【森角】会場に入った途端、大勢の声援が聞こえ、緊張していたのですが、とても力になりました。相手は、警視庁女子主将の阿部美流さんでしたが、臆することなく思い切った試合ができたと思います。

【司会】仁木良子先生は上田高校に赴任して、女子団体インターハイ初出場を成し遂げられました。どのように指導されたのですか。

【司会】次は、上田高校の稽古はいかがでしたか。

【森角】怖かったです。毎日必死でやっていました。面を着けたまま、よく涙を流していました。

【司会】滝浪さんが泣いていたんですか？顧問の、悲願のインターハイ出場に真剣に取り組んでいる姿が、そのように感じさせたのでしょうか。

【森角】感情が高ぶってしまつたのかな。決して倉並(現・仁木)先生が怖かつたからではありません(笑)

【仁木】インターハイに行かなければという思いが、かなりプレッシャーになつていたのかもしれない。厳しくしていたと思います。遙さんは、口数の少ない生徒でしたが、私を「怖い」と思っていたとは(笑)



長野県予選会アベック優勝の森角夫妻

【司会】森角さんは、一年生でインターハイを経験されたということは、良子先生が早いうちに才能を見出されたわけですね。県大会までの稽古、試合はいかがでしたか。

【司会】当時の上田高校の稽古はいかがでしたか。

【森角】怖かったです。毎日必死でやっていました。面を着けたまま、よく涙を流していました。

【司会】滝浪さんが泣いていたんですか？顧問の、悲願のインターハイ出場に真剣に取り組んでいる姿が、そのように感じさせたのでしょうか。

【森角】感情が高ぶってしまつたのかな。決して倉並(現・仁木)先生が怖かつたからではありません(笑)

【仁木】インターハイに行かなければという思いが、かなりプレッシャーになつていたのかもしれない。厳しくしていたと思います。遙さんは、口数の少ない生徒でしたが、私を「怖い」と思っていたとは(笑)

ので、特別に三月の東京遠征から稽古に参加させました。また、他校と比べて短い時間の稽古の内容を充実するよう努めました。稽古をより良いものとするために、剣道班OBで、前顧問の夫にアドバイスを、82期の近藤敏朗先生に外部コーチをお願いしました。上小剣連の先生方、保護者の皆様、大勢の方に応援して頂いたと思います。

【司会】当時の上田高校の稽古はいかがでしたか。

【森角】怖かったです。毎日必死でやっていました。面を着けたまま、よく涙を流していました。

【司会】滝浪さんが泣いていたんですか？顧問の、悲願のインターハイ出場に真剣に取り組んでいる姿が、そのように感じさせたのでしょうか。

【森角】感情が高ぶってしまつたのかな。決して倉並(現・仁木)先生が怖かつたからではありません(笑)

【仁木】インターハイに行かなければという思いが、かなりプレッシャーになつていたのかもしれない。厳しくしていたと思います。遙さんは、口数の少ない生徒でしたが、私を「怖い」と思っていたとは(笑)



(左) 仁木良子(当時の旧姓倉並) 先生
(右) 森角 遥(当時の旧姓滝浪) さん

【森角】 入ったばかりですすぐ大会でしたので、一生懸命全力を出し切るといふ気持ちで、稽古も試合も臨みました。

【仁木】 稽古は、基本を大事にし、正しい剣道をすれば怪我をしない。また、量だけやり過ぎてはいけない。二時間という限られた時間の中で常に無駄のない行動をするように意識させました。上田高校の伝統である自主性を尊重し生徒一人一人との対話を大切にしていきました。長谷川(男子)・岩田(女子)両キャプテンを中心に、全員の気持ちが一つになり、毎日の稽古は本当に充実していました。

【司会】 インターハイはいかがでしたか。

【森角】 この舞台に立てて、全てを出し切るという感じで臨みました。初戦は山形の左沢(あてらざわ)高校に敗れ、二回戦目は山梨の甲府商業高校に勝ちました。結果として、予選リーグを勝ち上がる事はできませんでしたがとても素晴らしい経験ができました。

【仁木】 県の代表に恥じない内容にしたいというプレッシャーもありました。宿舎に着いたときから翌朝の練習、試合まで、常にポジティブな気持ちで良い状態で臨めたと思います。団結力も素晴らしかった。監督としてこんな生徒たちに出会えたことを幸せに思います。現地で、大学の先輩にお会いしたときに「インターハイに行くことが目標でなく、インターハイで優勝することを目標にしないと伸びない。君達は何を目標にしているんだ？」と厳しい言葉を頂きました。実際、インターハイの会場で上位校の稽古を見た時に違いを感じました。監督としての未熟さを痛感しました。

【司会】 滝浪さんの大学時代の剣道はいかがでしたか。

【森角】 戸倉上山田で小学生の頃から剣道を始め、上田高校で仁木先生の指導を受け、仁木先生が筑波大学出身だったこともあり、筑波大学に進もうと思いつきました。一年生のとき、団体戦の選手として新人戦に出場できましたが、夢のような気分でした。しかし、二年生の秋にアキレス腱を切ってしまった、一年間剣道ができなかったのは精神的にもきつかったです。

【仁木】 私の在学中は、佐藤成明先生が部長でいらつしやいました。一つ上に原田悟さん(全日本選手権優勝者)がおられ厳しい稽古をされてました。原田さんには一度、上田高校に来ていただきましたよね。同期には村山千夏がいました。筑波大学の剣道部員

【司会】 良子先生、現在の段位は？

【森角】 昨年六段に合格する事ができました。昇段審査に挑戦する時はいつも家族の協力がありました。五段を取得する時、子供がまだ乳児だったので、審査会場に連れて行って、夫に見てもらって合格する事ができました。遙さんもご主人が剣道に理解のある方だから、協力してもらって頑張ってくださいね。

【森角】 来年、四段取得を目指して頑張りたいと思います。

【司会】 現在、お二人の剣道の稽古指導はどうされていますか。

【仁木】 現在、小諸高校で教諭をし、音楽科の担任で国語を教えています。残念ながら剣道部がありませんので剣道の顧問はできませんが、六年前から、上田市剣道スポーツ少年団神科分団で小中学生の指導をしています。

【森角】 長野県剣道連盟の稽古会や、県庁剣道部、県・三志会、地元戸倉上山田の社会体育剣道クラブなど、ほぼ毎日稽古しています。

【司会】 それは凄いです！戸倉上山田の社会体育は何時までですか？ 私達上小剣道連盟の稽古は週二回、体育館の都合で夜九時までなので、仕事の関係で僕も中々稽古ができません。

【森角】 だいたい夜十時まで稽古できます。仕事が終わってから行くので、遅くまでやっていてありがたいです。

【司会】 遅くまで稽古できていいですね。ほとんど毎日稽古をしているから稽古量の多さも今回の県代表に繋がっていったのですね。

【森角】 特に今回は稽古が続き、中々仕事ができない事が気掛かりでした。

【仁木】 ご主人は警察官特練で剣道が仕事だから、食事とかは協力しあつてね(笑)

【司会】 今後のお二人の抱負をお聞かせください。

【仁木】 地域の子どもたちに、正しい剣道と剣道の魅力を伝えていきたいと思えます。また、自分自身も更に精進していきたいと思っています。

【森角】 今回の大会は悔しさが残ったので、次を見据えて稽古に励みたいと思えます。全国大会まで気を張っていただので力が抜けてしまい、暫くは剣道をする気がしませんでしたが、またやる気を出してがんばっていききたいと思えます。

【司会】 上田高校の後輩達に、お二人から一言お願いします。

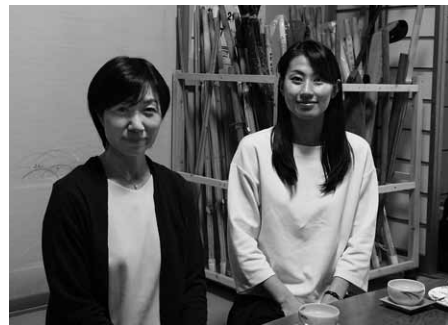
【仁木】 上田高校は文武両道が伝統で、みなさん両立できるように努力していると思います。頑張っていたきたいと思えます。お家の方や、顧問の先生、OBの方々に感謝の気持ちを忘れず、人との繋がりを大切にしていただきたいと思えます。

【森角】 全国に行くという気持ちで毎日稽古をして、「全国」を見据えてやってもらいたいと思えます。大人になってから、当時は、たくさんの方々に支えられていたことに気づきました。みんなに支えられているということを変えていただきたいと思えます。

【記録】 正村聖美 (80期)

【司会】 佐藤 博 (76期)

【回答者】 仁木良子(平成11〜15顧問) 森角 遥(旧姓滝浪)(106期)



(左) 仁木良子(平成11〜15顧問)
(右) 森角 遥(旧姓滝浪)(106期)

（随筆・和親記より） 科野大宮さんの御神木の高さ？

信州大学 大学院総合工学系研究科
研究特任教授太田和親（百一期太田朝
裕・父）2004年2月20日随筆

信州上田の科野（しなの）大宮さん
の社殿の裏、右手に、ものすごい大き
な木（周囲29尺 \parallel 8.8m）の、切り株
（高さ1丈 \parallel 10尺 \parallel 3m）だけが今も
残っています。見たこともない大きさ
の切り株で、驚きます。約300年前まで
の500年間そこで立っていて、巨木の御
神木として江戸時代の初めまで、大変
有名であったそうです。「信州の縄文
杉」といったところでしょうか。正確
には「信州の弥生ケヤキ」ですが：。
その御神木の影は、朝には諏訪部まで
届き、夕べには信濃（しなの）国分寺
まで届いたというのです。

そこで、諏訪部の向源寺橋（距離2480
m）と信濃国分寺（距離1540m）からの
仰角を4度として計算すると、それぞ
れ御神木の高さが73.4mと107.7mとい
う、とても高い高さになるのです。ど
なたか地元で言い伝えられている高さ
に関する他のうわさを知りませんか？
また、どなたか上田の北緯36度23分
冬至の日という仮定で、正確にこの御
神木の高さを影の長さから計算でき
る方、計算やってみて頂けたら有難い
です。

日本書紀には、「昔、近江の国（今
の滋賀県）に巨木がありその影は朝に
はちぬの海（大阪湾）まで届き、夕べ
には伊勢湾まで届いた。その影が農業
の支障になるので住民がこれを切り倒
すのを認めて欲しいと国に陳情があつ

た。」との記述があつたのを思い出
しました。日本書紀のはスケールが違
いますが、科野大宮さんのこの巨木も同
じように大変興味深いですね。

農業が弥生時代とともにも広まっ
ても、神社の木は切らないのが日本人
の昔からの習慣なので、このように巨木
が残ったということでしょう。それな
らば、科野大宮さんの出来た時期が判
らないと、科野大宮さんの史跡指定説
明文に書いてありますが、私は、この
巨木の樹齢から考えて、多分1800年
くらい前に出来たのではないかと思
います。1800年くらい前といえば
代あたりですね。ここ上田に、最初
に来た弥生人は、諏訪部の高橋近く
に有る標札によると、諏訪族だっ
たそう

す。この御神木から、いろんなことが
想像されて、古代のロマンを感じ
ます。

（太田和親著「和親記」No.4より転載・
著作者より転載許諾済みHPは下記）



科野大宮社御神木
上田市常田

<http://www13.ueda.ne.jp/~ko52517/s04.htm>

文藝春秋に同窓生

（七十六期 佐藤 博）

「文藝春秋」7月号に、剣道班OBの
76期宮川 正君の寄稿記事が掲載さ
れていましたので、全文をご紹介します。

寛政二年築の藩主邸表御門が残る長
野県立上田高校を昭和五十三年に卒

業。校訓は「文武両道・自学自習」、
校歌にある「試百難」は私たち上田健
児の誇りだ。横関は地域の医療活動
の中核を担う病院を目指し、余暇には
信州の山々を今も登る。金井は穏やか
な顔立ちと調整力を武器に、茨城県鹿
島港沖で洋上風力発電を推進中。特技
の体操は健在でバック転を容易こな
す。剣道の宮川は自衛隊に入り戦闘機
パイロットに。米国防衛駐在官、部隊
指揮官を歴任し情報本部長を最後に昨
年末退官した。西沢は排球で鍛えた機
敏さと長身を生かし俳優に。現在、大
河ドラマ「西郷どん」に出演し、個性
のある良い味を出している。卒業生が
各方面で「百難に試み」ているのも母
校の特徴である。

（文藝春秋平成30年7月号より転載・
同編集部より転載許諾済み）

全剣連のHP作成委員として

（六十四期 宮坂 昌之）



皆さん、今まで国
際剣道連盟のホーム
ページは英語版のみ
で、しかも内容が古
かったのですが、今回、スマホでみ
られるサイトに変更し、英語版、日本
語版の両方を作りました。日本語版
は <https://www.kendo-fik.org/ja/>、
そこから英語版にも入ることが出来ま
す。よかつたら見てください。（一財）
全日本剣道連盟ホームページ作成委員
の一人としてお手伝いしました。全剣
連ホームページについても、近々、ま
たく新しい内容のスマホ版に代わる予

正月のOB会幹事より

白鳥 泰士（百十三期）



平成30年度（平成
31年1月2日開催若
手OB主催）の上田
高校剣道班OB稽古
会・懇親会の幹事を務めさせていただきました。

私は現在、岐阜薬科大学薬科学科に
通学しており、4回生になりました本
年は卒業論文のためのデータを出そう
と日々研究に勤しんでおります。研究
内容について概説致しますと、加齢黄
斑変性や糖尿病性網膜症といった網膜
の疾患を薬物によって治療する場合、
その薬物は主に白目の部分に針を刺す
注射によって眼の内部に直接投与され
ます。この方法では効果がよくあらわ
れる反面、患者に恐怖心を与えてしま
うことや、白内障や眼内炎などの副作
用も懸念されます。さらに何度も病院
に通って投与する必要があるため、患
者に与える心理的苦痛や時間的拘束
も問題となっています。一方で点眼投
与は最も簡便かつ副作用も少なく、患
者自身による治療も可能な投与形態で
す。しかしながら角膜や結膜における
強固なバリア機構や涙液による排泄機
構が眼の内部への薬物の侵入を妨げる
ため、点眼投与により網膜を治療する
には薬物の移行性がネックになってき

ます。そこで当研究室で長く研究がな
されてきた、人体への適合性が高くか
つ物理的な性質をある程度自由にコン
トロールできるキャリアに薬物を封入
することで点眼投与による網膜疾患の
治療を可能にしよう、というテーマで
研究を行っております。

上田高校剣道班で過ごした3年間で
一番学んだことは、どんな状況におか
れても楽しんで取り組むということだ
です。腹立たしいほどの猛暑の中で、練
習や、涙も凍るような寒稽古において
も、100%ネガティブな心理状態で稽古
を行うよりその中に1%でも楽しみ
を見つけて行うほうが、圧倒的にパ
フォーマンスが向上するということ
気が付くことができました。その経験
のおかげで、2日間にわたって昼夜関
係なく5時間おきにマウスに点眼投与
するようなクリエイティブな実験にも耐
えてやっていけているのだと思います。

来年からは同大学院に進学し、同研
究室にてもう2年間研究生活を続ける
予定ですが、上田高校剣道班で学んだ
困難に立ち向かう数々の術を武器にし
て精進していきたいと思っております。今後
とも113期の躍進を見守って頂きますよ
うどうぞよろしくお願いたします。



研究の様子（113期 白鳥泰士氏）

剣道今昔

平成 30 年度戦績

■ 春季東信大会結果 (5 月 12・13 日)
 於・上田自然運動公園体育館
 男子団体 (3 位)、女子団体 (2 位)
 男子個人戦: 山岸龍矢 (4 位)
 女子個人戦: 倉島花音 (4 位)、小出磨奈 (5 位)、依田 恵 (7 位)

■ 平成 30 年度長野県高等学校総合体育大会結果
 (6 月 1・2・3 日) 於・大町市運動公園総合体育館
 男子団体
 ○予選リーグ: 長野商業 (北 2 位) 岡谷南 (南 6 位) 松本県ヶ丘 (中 5 位) に勝ち 1 位でリーグ通過

○決勝トーナメント
 1 回戦 屋代に 3:2 で勝ち
 準々決勝 松商学園に 1:1 で代表戦 山岸 延長の末惜敗 (結果) ベスト 8

女子団体
 ○予選リーグ: 飯田 (南 3 位) 長野 (北 6 位) 飯山 (北 9 位)
 飯田と飯山に勝ち 2 位でリーグ通過

○決勝トーナメント
 1 回戦 長野商業に 3:0 で敗退 (結果) ベスト 16

男子個人: 山岸龍矢 2 回戦延長の末 北澤 (長野日大) に敗退。ベスト 16
 女子個人: 小出磨奈 2 回戦延長の末 朝山 (下伊那農業) に敗退。ベスト 16



真田幸村杯表彰式 (高校男子)



真田幸村杯表彰式 (高校女子)

「今」 平成三十年

■ 秋季東信大会結果 (新人大会) (10 月 13・14 日)
 於・上田自然運動公園体育館
 男子団体戦 (5 位)、女子団体戦 (2 位)
 男子個人戦: 山岸大悟 (4 位)
 女子個人戦: 小出磨奈 (4 位)

■ 秋季長野県大会 (新人大会)
 男子団体戦: ベスト 16
 女子団体戦: 一回戦敗退 (三人で出場)
 男子個人戦: 山岸大悟 ベスト 16
 女子個人戦: 小出磨奈 ベスト 8

■ 真田幸村杯剣道大会結果 (於・上田市自然運動公園総合体育館 9 月 9 日)
 高校男子の部 優勝上田高等学校
 高校女子の部 優勝上田高等学校



近況報告 上田高校剣道班顧問 若林 康彦

日頃より剣道班の活動に対しまして、物心両面よりご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。
 さて本年度の大会成績ですが、長野県大会、男子団体戦 5 位、女子団体戦 ベスト 8、男子個人戦 山岸龍矢 ベスト 8 (北信越大会出場)、女子個人戦 倉島花音 ベスト 16、小出磨奈 ベスト 16。全員よく頑張りました。特に 3 年生は実力以上のものを出し切ることができました。今後は来年度に向けまして、班員共々更に精進して行きたいと念じております。

又、先輩方におかれましては、何かとご多忙のこととは存じますが、折を見て母校に顔を出していただき、叱咤激励をしていただければ幸いです。宜しくお願い致します。

「昔」 明治三十七年 (二)

◎ 中等學校聯合運動會 天高く氣清き孟冬十六十七の両日を以て聯合運動會は長野中學校に於て催せられぬ我校にても招待状を受け各運動部 (弓術部を除く) より選手を派遣す此名譽ある戦場に據り出されし本部の勇士は小山貞一 稻玉信吾 小山貞知の三氏なり
 十六日 第一番列車の下りにて長野に向ふ親しく有志諸君に送られて汽笛の一聲に上田を發し希望の光に輝かれて勇ましく長野に着し小林先生及び長野中學校生徒諸氏招待員に迎へられそれより意氣堂々入場す會するもの本縣立の七校也此日は初曇天にて稍々あんじられしが后晴れぬ
 十七日 午前晴天、后曇、降雨本日は擊劍柔道及び庭球の競技ありき午前八時擊劍部の競技は雨天体操場内に於て開始せられぬ各校職員及び擊劍部教員諸氏を始とし意氣衝天の劍士綺羅星の如く周圍には各校生徒參觀人列をなして集りぬ長中擊劍部教員柴田先生の一場の演説終るや續いて試合は始

まりたり口を切つて鋭く響く掛聲と共に丁々發矢の切り込ぬ太刀各校の特長を表はしぬ而して又異様の技もなきにはあらざりしなり然れども我選手の何れも美々しく立働きたる事姿勢の整然たる勝負に毫も未練を殘さざりし事又禮儀を充分に重んじたる事等は他に比類なき特長にして常に敵も殊方も感賛する所なり之れ一意に我選手の熱心なるご小野田先生の厚き薫陶に依るものと堅く信するなりあゝ實に小野田先生の眞の大和武士たる謙遜恭謹なる而も英邁果斷なる而して審判官としては先生の判決の公平なる決斷の鋭敏なる事等に對しては我も彼も參觀人も同僚者も等しく感嘆せざるものこそはあらざりき

○小山貞知君 × ○稻玉信吾
 ○渡邊信海君 (長中) ○竹中勝君 (師範)
 ○小山貞一君
 ○宮下幸平君 (長中)

斯くして十一時終りを告げそれより一同運動場に整列し長野中學校長の運動會に關する演説ありて次で優勝者には賞牌を授與し閉會となりき

現役生を代表して

【班長】三年百十七期 山岸龍矢
 自分が班長として先輩方から引き継いだとき、自分は北信越大会を控えていました。自分自身の試合に向けて集中するとともに、班長として自分は何ができるかということを考えて結果、「背中を示す」ということを意識して取り組もうと決めました。

「背中を示す」というのは普段の練習で一番大きな声を出し、真剣に取り組む姿で班全体のモチベーションを高めることです。そして、個人でも団体でも上の大会へ進んで、同期、先輩に少しでも上のレベルを見せることを自身の目標とし、モチベーションとして取り組みました。練習は大変でしたが、互いに励まし、高め合う稽古ができたと思います。

最後の大会では、目標の北信越までほんとうにあと一步のところまで負けてしまいました。とても悔しい結果でしたが、自分は一つ得たものがありました。実は、自分の代表戦で試合をしているとき、他校が自分に拍手を送っていました。頑張る姿は人に伝わるということを改めて感じることができました。この経験を通して、自分は「背中を示す」ことを人生のモットーにしてさまざまなことに取り組もうと感じました。

また、宮下杯では三連覇を達成することができました。自分の実力をしっかり出せ、結果につながれたと思います。

この三年間で学んだこと、感じたことはたくさんありました。しかし、このような経験は仲間、保護者、先生方、その他多くの方の支えがあってこそのものでした。多くの人に感謝をして、これからの人生をまた歩んでいこうと思います。本当にありがとうございます。

【女子班長】三年百十七期 依田 恵
 県大会が終わり、六月に先輩方から剣道班のバトンを引き継いだ頃は班がうまくまとまらず、先輩方の存在がどれだけ大きかったのかに気付かされました。

しかし、そんな中でも班員一人一人が試合で勝つ力をつけるためにいまの自分たちには何が足りないのか、それを補うためには具体的になんかことをしていけばいいのかを考えて実行していくことで少しずつチームにまとまりが出てきました。

新人戦を終え、改めて団体戦は個人戦ではないんだと思いました。誰か一人だけが強くても団体戦では勝てません。逆に言えば、突出した力のある選手が一人もいなくてもチーム全体で流れを引き寄せることができます。

できれば、チームとしての勝利をもぎ取ることができるとはできません。そのため、先鋒か



宮下杯試合



幸村杯優勝、準優勝の各位

ら大将まで、試合の流れを切らず、各々が自分の役割を果たすことが私たちの課題です。また、剣道でも私生活でも当たり前だと思ふことを当たり前にやっていくことや、小さな努力を積み重ねていくということを大切にしていきたいです。

今、女子の班員は少ないため五人揃って団体戦に出ることはできません。ですが、人数が少なくなっても団体戦で勝ちたいという強い気持ちは変わることはありません。今後は自分たちの目標を見失わず、一人一人が力を磨いて来年の本大会で団体戦を戦い抜くための力をつけるため、日々の稽古に集中して取り組んでいきます。



9月9日第十二回真田幸村杯剣道大会

連絡事項

一月二日OB会のお知らせ

日時 平成31年一月二日

● 集合二時、試合開始二時半

終了後合同稽古会

会場は上田高校体育館

● 午後六時懇親会 上田温泉 祥園

(五時半より受付) 会費3000円

※幹事(百十三期) 白鳥 泰士

090・4153・9124

● 来年度会費納入のお願い ●
 会費(三千元) 納入は六月の総会後一ヶ月以内、七月末までに左記の方法でお願い申し上げます。※ご寄付は随時受付しております

(1) 郵便振替用紙での送金
 郵便振替 口座記号番号
 00510・6・50693

加入者名: 上田高校剣道班OB会
 (2) 銀行口座へのお振込み
 八十二銀行 上田支店
 口座番号: 1014425

名義: 上田高校剣道班OB会
 ※卒業期とお名前の記入をお忘れなく

平成31年度OB会総会
 6月22日(土) 予定

○住所変更の方は幹事長まで

八十六期 唐澤 信広
 〒389-0512

東御市滋野乙三〇〇六
 ueken.ob1955@gmail.com